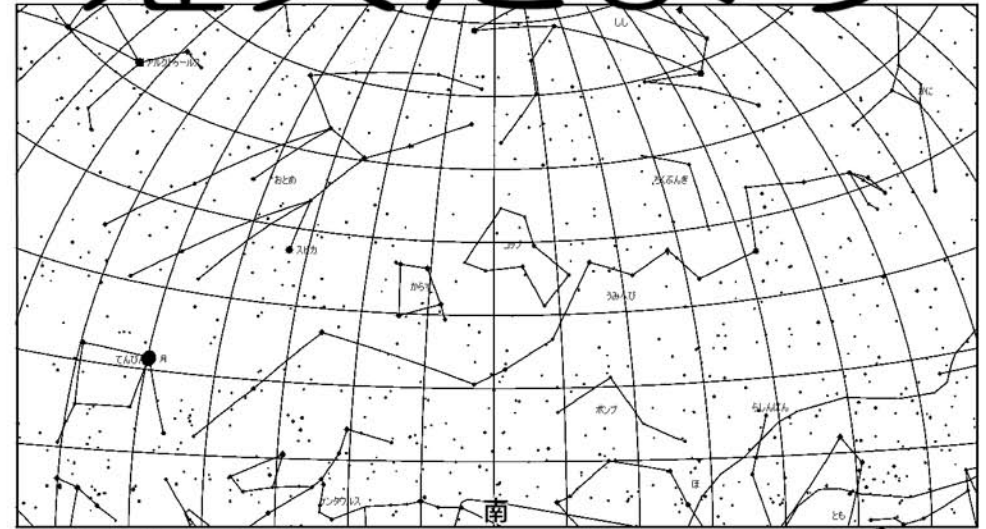


# 姫天だより



5月15日午後8時の南の空

5月号  
2022

また、普通は明るい星から $\alpha$  $\beta$ と順に呼ぶのですが、なぜか $\alpha$ 星は4等星で右下の星の下くちばしの部分に輝いている星で、アルキバと言う名前がついています。これはアラビア語でテントの意味があり、この4つの星の並びが砂漠に張ったテントの形に見立てていたからだと考えられます。

星座の神話では、このカラスは太陽神アポロンの使いで、銀色の翼を持ち人間の言葉を話すことが出来ました。あるとき、カラスは、アポロンの妻コロニスに浮気をしたとアポロンに嘘をついたため、アポロンは怒って妻を矢で射殺してしまいました。しかし、その話がでたらめと分かったアポロンは、このカラスを黒い姿に変え、言葉を奪いただガーガーと鳴くだけにしてしまいましたが、それでも気が治まらず天にさらしたとされています。

## ★今月のテーマ 春の星座教室

春の星座は皆さんもよく知っている北斗七星から探すことができます。ひしゃくの柄の部分に当たる4つの星をその並びに従ってカーブを延長していくと、オレンジ色の1等星アルクトゥルスが、さらに伸ばしていくと青白い1等星スピカが見つかります。その先には今月の星座からす座を見つけることができます。

このカーブのことを春の大曲線と呼びますが、各季節ごとに夏の大三角形、秋の四辺形、冬の大三角形と非常に目立つ星の並びと探し方があるんです。

皆さんも私たちと一緒に星座を探し方を覚えてみませんか？

## -次回の天文クラブ-

### ●5月の星を見る会

5月28日(土)午後7時30分より  
春の星座観察

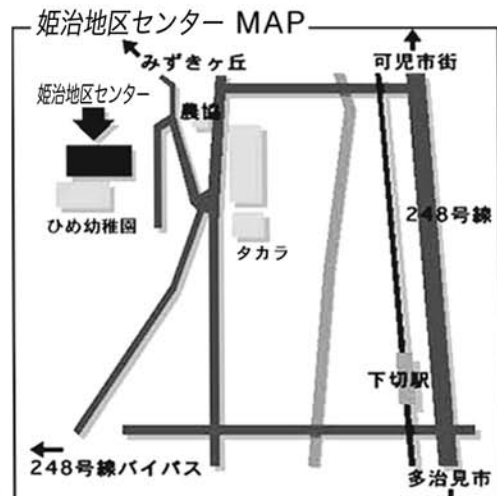
### ●6月の星を見る会

6月25日(土)午後7時30分より  
春の星座観察

※観察時は冷えますので暖かい格好で来てください。

姫治地区センター  
岐阜県可児市下切 1530  
☎0574-62-0104

姫治天文台  
<http://himeziten.yu-yake.com/>



JR太多線下切駅より徒歩13分  
2022年5月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは  
姫治地区センター (62-0104) まで

## ★今月の星座 からす座

5月の下旬夜8時、南の地平線から30度(げんこつ3個分)の高さに4つの3等星が踏み台の形をつくって、うみへび座の背中にちょこんと乗っているのが、からす座です。

探し方は、皆さんよく知っている北斗七星の柄の星を使って探します。柄の星のカーブに沿って、ますの反対側へのばしていくとオレンジ色のうしかい座の1等星アルクトゥルス、青白いおとめ座の1等星スピカを通り、さらにその先へのばしていくと台形の形に並んだ4つの3等星が見つかります。これがからす座です。可児の街の中では市内の明かり、小牧や名古屋、春日井の街明りで南の空が明るくなり見つけにくくなっていますが、3等星と割と明るい星で目立つ並びですから星座に詳しくなくても見つけやすいと思います。

イギリスでは、スパイカのスパンカーとしゃれた呼び方をしますが、スパイカ (Spica's) はおとめ座の1等星スピカのことで、スパンカーとは大型帆船の船尾に張るたて帆に似ていることからこう呼びます。

日本でもこの4つの星が目立つことから、四つ星のほか、帆かけ星と呼ぶ地方があります。イギリスと日本、場所は違っても同じ船の帆に見立てているなんて不思議ですね。